

大 学 院 概 要

文学研究科

■英語学専攻（修士課程）

英語学専攻は、英語学を総合的に研究し、体系的な研究指導を行うことを目的とする。個別言語としての英語の性質を、音声・音韻、文法、意味の各分野において探求し、人間に固有の能力としての言語の普遍的特性を求めるといふ、現代の言語理論の方法論に則った研究を推進し、これを基盤として社会言語学、心理言語学、言語哲学、情報科学との関連領域を研究することによって、人間の社会的特性、思考や習得のメカニズムに多角的なアプローチを行う。

授業科目

授 業 科 目	配当年次		開 講 区 分	単 位 数	担当者（予定）	備 考	
	1 年	2 年					
語 学 系 統	*リサーチ・プレゼンテーションA	○		前期	2	A. E. Jackson	
	*リサーチ・プレゼンテーションB	○		後期	2	A. E. Jackson	
	*アーギュメンテーションA		○	前期	2	P. Spaelti	
	*アーギュメンテーションB		○	後期	2	P. Spaelti	
英 語 学 系 統	*英語学研究 100（英語の構造Ⅰ）	○		前期	2	松田謙次郎	
	*英語学研究 101（英語の構造Ⅱ）	○		前期	2	西垣内泰介	
	英語学研究 102（音声学・音韻論）	○	○	前期	2	P. Spaelti	
	英語学研究 103（韻律音韻論）	○	○	後期	2	P. Spaelti	
	英語学研究 105（文法研究の歴史）	○	○	後期	2	P. Spaelti	
	英語学研究 106（言語と知識）	○	○	後期	2	西垣内泰介	
	英語学研究 107（文法と意味）	○	○	前期	2	西垣内泰介	
	英語学研究 108（日英対照文法論）	○	○	後期	2	西垣内泰介	
	◆英語学研究 109（言語と数学）	○	○	前期	2	郡司 隆男	隔年開講
	◆英語学研究 110（意味論）	○	○	後期	2	郡司 隆男	隔年開講
	英語学研究 111（言語科学方法論）	○	○	後期	2	郡司 隆男	
	英語学研究 112（言語と社会）	○	○	前期	2	松田謙次郎	
	英語学研究 113（談話分析）	○	○	後期	2	松田謙次郎	
	英語学研究 114（言語と認識）	○	○	前期	2	久津木 文	
	英語学研究 115（実験言語学）	○	○	後期	2	久津木 文	
	◆英語学研究 116（英語授業論A）	○	○	前期	2	作井 恵子	隔年開講
	◆英語学研究 117（英語授業論B）	○	○	後期	2	作井 恵子	隔年開講
	英語学研究 118（英文法A）	○	○	前期	2	西垣内泰介	
	英語学研究 119（英文法B）	○	○	後期	2	西垣内泰介	
	英語学研究 122（英語授業論C）	○	○	前期	2	A. E. Jackson	
	英語学研究 123（英語授業論D）	○	○	後期	2	A. E. Jackson	
	英語学研究 201（音韻論A）	○	○	前期	2	P. Spaelti	隔年開講
	英語学研究 202（音韻論B）	○	○	後期	2	P. Spaelti	隔年開講
◆英語学研究 203（語と文法A）	○	○	前期	2	P. Spaelti	隔年開講	
◆英語学研究 204（語と文法B）	○	○	後期	2	P. Spaelti	隔年開講	
英語学研究 205（文法と意味A）	○	○	前期	2	西垣内泰介		
英語学研究 206（文法と意味B）	○	○	後期	2	西垣内泰介		
英語学研究 207（言語と情報A）	○	○	前期	2	郡司 隆男	隔年開講	
英語学研究 208（言語と情報B）	○	○	後期	2	郡司 隆男	隔年開講	
英語学研究 209（社会言語学）	○	○	後期	2	松田謙次郎		
英語学研究 210（変異理論）	○	○	前期	2	松田謙次郎		
英語学研究 211（言語と認識A）	○	○	集中	2	松井 理直		
英語学研究 212（言語と認識B）	○	○	集中	2	松井 理直		

	英語学研究 215 (意味論・語用論A)	○	○	前期	2	柏本 吉章	隔年開講 隔年開講
	英語学研究 216 (意味論・語用論B)	○	○	後期	2	柏本 吉章	
	英語学研究 217 (語学教育理論A)	○	○	前期	2	作井 恵子	
	英語学研究 218 (語学教育理論B)	○	○	後期	2	作井 恵子	
実 習 系 統	* コンピュータ・イン・リサーチA	○		前期	2	郡司 隆男	
	* コンピュータ・イン・リサーチB	○		後期	2	郡司 隆男	
	フィールド・ワーク	○	○	前期	2	松田謙次郎	
	言語と統計A	○	○	前期	2	松田謙次郎	
	言語と統計B	○	○	後期	2	松田謙次郎	

*印は必修 ◆印は2019年度不開講

修了要件・履修方法

- ・修了要件 所定の授業科目について 32 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。
- ・履修方法
 - ① 必修科目 16 単位 (語学系統 8 単位、英語学系統 4 単位、実習系統 4 単位)
 - ② 英語学研究 102～英語学研究 123 より 4 単位以上
 - ③ 英語学研究 201～英語学研究 218 より 8 単位以上

授業担当者

教 授

柏 本 吉 章	英語学研究 215、英語学研究 216
郡 司 隆 男	英語学研究 109、英語学研究 110、英語学研究 111、英語学研究 207、英語学研究 208、 コンピュータ・イン・リサーチA、コンピュータ・イン・リサーチB
作 井 恵 子	英語学研究 116、英語学研究 117、英語学研究 217、英語学研究 218
西 垣 内 泰 介	英語学研究 101、英語学研究 106、英語学研究 107、英語学研究 108、 英語学研究 118、英語学研究 119、英語学研究 205、英語学研究 206
松 田 謙 次 郎	英語学研究 100、英語学研究 112、英語学研究 113、 英語学研究 209、英語学研究 210、フィールド・ワーク、言語と統計A、言語と統計B
A. E. Jackson	リサーチ・プレゼンテーションA、リサーチ・プレゼンテーションB、 英語学研究 122、英語学研究 123

准教授

久 津 木 文	英語学研究 114、英語学研究 115
---------	---------------------

講 師

Philip Spaelti	アーギュメンテーションA、アーギュメンテーションB、 英語学研究 102、英語学研究 103、英語学研究 105、英語学研究 201、英語学研究 202、 英語学研究 203、英語学研究 204
----------------	---

非常勤講師

松 井 理 直	英語学研究 211、英語学研究 212
---------	---------------------

(2019年4月現在)

■国語国文学専攻（修士課程）

国語国文学専攻は、国語国文学に関する伝統的な学問領域を対象として、それをより深く研究し、その成果と研究方法を身につけることを目指す。

授業科目

系 統	授 業 科 目	配当 年次		開講 区分	単 位 数	担当者(予定)	備 考	
		1 年	2 年					
必 修	国語国文学特別研究		○	通年	4	青木 稔弥 田中 まき 池谷 知子 黒木 邦彦 田附 敏尚		
日 本 文 学	日本文学特殊講義ⅠA	○	○	前期	2	田中 まき	古代	隔年開講
	日本文学特殊講義ⅠB	○	○	後期	2	田中 まき	古代	隔年開講
	◆日本文学特殊講義ⅡA	○	○	前期	2	青木 稔弥	近代	隔年開講
	◆日本文学特殊講義ⅡB	○	○	後期	2	青木 稔弥	近代	隔年開講
	◆日本文学演習ⅠA	○	○	前期	2	田中 まき	古代	隔年開講
	◆日本文学演習ⅠB	○	○	後期	2	田中 まき	古代	隔年開講
	日本文学演習ⅡA	○	○	前期	2	青木 稔弥	近代	隔年開講
	日本文学演習ⅡB	○	○	後期	2	青木 稔弥	近代	隔年開講
	日本文学史特殊講義A	○	○	前期	2	三木 麻子		
	日本文学史特殊講義B	○	○	後期	2	三木 麻子		
日 本 語 学 ・ 日 本 語 教 育	◆日本語学特殊講義ⅠA	○	○	前期	2	黒木 邦彦	古典語	隔年開講
	◆日本語学特殊講義ⅠB	○	○	後期	2	黒木 邦彦	古典語	隔年開講
	日本語学特殊講義ⅡA	○	○	前期	2	田附 敏尚	現代語	隔年開講
	日本語学特殊講義ⅡB	○	○	後期	2	田附 敏尚	現代語	隔年開講
	◆日本学特殊講義A	○	○	前期	2	青木 稔弥		隔年開講
	◆日本学特殊講義B	○	○	後期	2	青木 稔弥		隔年開講
	日本語学演習ⅠA	○	○	前期	2	黒木 邦彦	古典語	隔年開講
	日本語学演習ⅠB	○	○	後期	2	黒木 邦彦	古典語	隔年開講
	◆日本語学演習ⅡA	○	○	前期	2	田附 敏尚	現代語	隔年開講
	◆日本語学演習ⅡB	○	○	後期	2	田附 敏尚	現代語	隔年開講
	◆日本語教育特殊講義A	○	○	前期	2	池谷 知子		隔年開講
	◆日本語教育特殊講義B	○	○	後期	2	池谷 知子		隔年開講
	日本語教育演習A	○	○	前期	2	池谷 知子		隔年開講
	日本語教育演習B	○	○	後期	2	池谷 知子		隔年開講

◆印は2019年度不開講

修了要件・履修方法

- ・修了要件 所定の授業科目について32単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。
- ・履修方法 ①必修4単位：「国語国文学特別研究（論文指導）」通年、2年次配当。
②選択必修16単位以上：日本文学系統もしくは日本語学・日本語教育系統の2分野から1分野を選択する。
③②で選択した分野以外の任意科目、および他専攻・神戸大学大学院での開講科目。
*ただし、他専攻・神戸大学大学院での開講科目履修は10単位を越えてはならない。

授業担当者

教授

- 青木 稔 弥 日本文学特殊講義Ⅱ A、日本文学特殊講義Ⅱ B、日本文学演習Ⅱ A、日本文学演習Ⅱ B
日本文学特殊講義 A、日本文学特殊講義 B、国語国文学特別研究
- 池谷 知 子 日本語教育特殊講義 A、日本語教育特殊講義 B、日本語教育演習 A、日本語教育演習 B
国語国文学特別研究
- 田中 ま き 日本文学特殊講義Ⅰ A、日本文学特殊講義Ⅰ B、日本文学演習Ⅰ A、日本文学演習Ⅰ B
国語国文学特別研究

准教授

- 黒木 邦 彦 日本語学特殊講義Ⅰ A、日本語学特殊講義Ⅰ B、日本語学演習Ⅰ A、日本語学演習Ⅰ B
国語国文学特別研究
- 田附 敏 尚 日本語学特殊講義Ⅱ A、日本語学特殊講義Ⅱ B、日本語学演習Ⅱ A、日本語学演習Ⅱ B
国語国文学特別研究

非常勤講師

- 三木 麻 子 日本文学史特殊講義 A、日本文学史特殊講義 B

(2019年4月現在)

■ 心理学専攻（修士課程）

心理学専攻には、臨床心理士ならびに公認心理師の養成を目的とした「臨床心理学コース」と実証的調査の専門家を養成する「心理学コース」の2つのコース設定がある。

1. 臨床心理学コース

臨床心理学コースでは、実務能力の高い臨床心理士ならびに公認心理師の養成を目指す。そのために、臨床心理査定、臨床心理面接、臨床心理的地域援助などの技法や心理臨床的研究の方法を実践的に身につけていくとともに、臨床心理学を中心とした関連分野の知識を学んでいく。

【臨床心理学コース】授業科目

	授業科目	配当年次		開 分 講 区	単 位 数	担当者（予定）	分類	公認心理師 がキョム番号	備 考
		1 年	2 年						
必修科目	臨床心理学特論Ⅱ	○		通年	4	※1	必修		
	臨床心理基礎実習Ⅱ	○		通年	2	※2	必修		
	臨床心理査定演習ⅠⅡ （心理的アセスメントに関する理論と実践）	○		前期	2	黒崎 優美	必修	⑥	
	臨床心理査定演習ⅡⅢ	○		後期	2	中村 博文	必修		
	臨床心理面接特論ⅠⅡ （心理支援に関する理論と実践）	○		前期	2	中村 博文	必修	⑦	
	臨床心理面接特論ⅢⅣ	○		後期	2	榑原 久直	必修		
	心理実践実習ⅠⅡ	○		通年	4	※2	必修	⑩	
	臨床心理実習ⅠⅡ （心理実践実習Ⅱ）		○	通年	6	※3	必修	⑩	
	臨床心理実習ⅢⅣ		○	通年	2	※3	必修		
	心理学特別研究		○	通年	4	※4	A群 （必修）		
選択必修科目	心理学研究法特論	○		通年	4	※5	A群		
	発達心理学特論Ⅰ	○	○	前期	2	久津木 文	B群		
	比較行動学特論Ⅰ	○	○	前期	2	待田 昌二	B群		隔年開講
	認知発達心理学特論Ⅰ	○	○	前期	2	久津木 文	B群		
	発達心理学特殊研究Ⅰ	○	○	前期	2	寺見 陽子	B群		
	◆社会心理学特殊研究	○	○	後期	2	土肥伊都子	C群		隔年開講
	社会心理学特論Ⅰ	○	○	前期	2	土肥伊都子	C群		
	精神医学特論 （保健医療分野に関する理論と支援の展開）	○	○	前期	2	若栄 徳彦	D群	①	
	臨床薬理学特論	○	○	後期	2	若栄 徳彦	D群		
	認知行動療法特論Ⅱ	○	○	集中	2	巢黒慎太郎	E群		隔年開講
	グリーンケア特論Ⅱ	○	○	後期	2	大和田攝子	E群		
	◆児童臨床特論Ⅱ （福祉分野に関する理論と支援の展開）	○	○	前期	2	榑原 久直	F群	②	隔年開講
	学校臨床心理学特論Ⅱ （教育分野に関する理論と支援の展開）	○	○	前期	2	黒崎 優美	F群	③	隔年開講

選 択 必 修 科 目	司法・犯罪心理学特論# (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	○	○	集中	2	浅田 慎太郎	F群	④	隔年開講
	産業・労働心理学特論# (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	○	○	集中	2	千葉 征慶	F群	⑤	隔年開講
	家族療法・アプリーゼン®-特論# (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	○	○	後期	2	坂本真佐哉	F群	⑧	
	心理教育特論# (心の健康教育に関する理論と実践)	○	○	後期	2	小松 貴弘	F群	⑨	
	臨床心理学特別研究A# ☆	○		前期	2	※4	F群		
	臨床心理学特別研究B# ☆	○		後期	2	※4	F群		

◆印は2019年度不開講

注) 1. #マークのついている科目は、他のコースの学生は履修できない。

2. F群科目は選択必修科目であるが、☆マークのついている科目は、1年次に全員履修することが望ましい。

<担当者>

※1：大和田攝子（前期）、坂本真佐哉（後期）

※2：大和田攝子、中村 博文、木場 律志

※3：小松 貴弘、坂本真佐哉、黒崎 優美、榊原 久直

※4：大和田攝子、小松 貴弘、坂本真佐哉、黒崎 優美、中村 博文、木場 律志、榊原 久直

※5：土肥伊都子、鳥居さくら <オムニバス>

臨床心理学コース修了要件・履修方法

・修了要件

所定の授業科目について42単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。

・履修方法

① 必修科目30単位

② 選択必修科目の分類A群4単位，B，C，D，E群からそれぞれ2単位以上の計12単位以上

③ 上記①、②を含み合計42単位以上を修得しなければならない。

2. 心理学コース

心理学コースは、発達心理学や社会心理学などの実証的分野を中心に研究者や実証的調査の専門家の育成を目指す。

【心理学コース】授業科目

	授業科目名	配当年次		開講区分	単位数	担当者（予定）	分類	備考
		1年	2年					
必修	心理学特別研究		○	通年	4	※(1)	必修	
選択必修科目	心理学研究法特論	○		通年	4	※(2)	A群	
	発達心理学特論Ⅰ	○	○	前期	2	久津木 文	B群	
	発達心理学特論Ⅱ	○	○	後期	2	久津木 文	B群	
	比較行動学特論Ⅰ	○	○	前期	2	待田 昌二	B群	隔年開講
	比較行動学特論Ⅱ	○	○	後期	2	待田 昌二	B群	隔年開講
	認知発達心理学特論Ⅰ	○	○	前期	2	久津木 文	B群	
	認知発達心理学特論Ⅱ	○	○	後期	2	久津木 文	B群	
	◆認知神経心理学特論Ⅰ	○	○	前期	2	鳥居さくら	B群	隔年開講
	◆認知神経心理学特論Ⅱ	○	○	後期	2	鳥居さくら	B群	隔年開講
	発達心理学特殊研究Ⅰ	○	○	前期	2	寺見 陽子	B群	
	発達心理学特殊研究Ⅱ	○	○	後期	2	谷川 弘治	B群	隔年開講
	◆社会心理学特殊研究	○	○	後期	2	土肥伊都子	C群	隔年開講
	社会心理学特論Ⅰ	○	○	前期	2	土肥伊都子	C群	
	社会心理学特論Ⅱ	○	○	後期	2	土肥伊都子	C群	
	精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	○	○	前期	2	若栄 徳彦	D群	
臨床薬理学特論	○	○	後期	2	若栄 徳彦	D群		

◆印は2019年度不開講

<担当者>

※(1)：土肥伊都子、藤本 浩一、待田 昌二、久津木 文

※(2)：土肥伊都子、鳥居さくら <オムニバス>

心理学コース修了要件・履修方法

・修了要件

所定の授業科目について32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。

・履修方法

- ① 必修科目4単位
- ② 選択必修科目の分類A, B, C群から計20単位
- ③ 上記①、②の24単位を含み合計32単位以上を修得しなければならない。

授業担当者

教授

大和田 攝子	心理学特別研究、臨床心理学特論、臨床心理基礎実習、心理実践実習Ⅰ、グリーフケア特論、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B
小松 貴弘	心理学特別研究、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅰ）、臨床新鋭実習Ⅱ、心理教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B
坂本 真佐哉	心理学特別研究、臨床心理学特論、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）、臨床心理実習Ⅱ、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B、家族療法・ブリーフセラピー特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）
谷川 弘治	発達心理学特殊研究Ⅱ
寺見 陽子	発達心理学特殊研究Ⅰ
土肥 伊都子	心理学特別研究、心理学研究法特論、社会心理学特論Ⅰ、社会心理学特論Ⅱ、社会心理学特殊研究
鳥居 さくら	心理学研究法特論、認知神経心理学特論Ⅰ、認知神経心理学特論Ⅱ
藤本 浩一	心理学特別研究
待田 昌二	心理学特別研究、比較行動学特論Ⅰ、比較行動学特論Ⅱ

准教授

久津木 文	心理学特別研究、発達心理学特論Ⅰ、発達心理学特論Ⅱ、認知発達心理学特論Ⅰ、認知発達心理学特論Ⅱ
黒崎 優美	心理学特別研究、臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）、臨床心理実習Ⅱ、学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B
中村 博文	心理学特別研究、臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）、臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理基礎実習、心理実践実習Ⅰ、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B

講師

木場 律志	心理学特別研究、臨床心理基礎実習、心理実践実習Ⅰ、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B
榊原 久直	心理学特別研究、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）、臨床心理実習Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅱ、児童臨床特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B

非常勤講師

巢黒 慎太郎	認知行動療法特論
若栄 徳彦	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）、臨床薬理学特論
浅田 慎太郎	司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）、
千葉 征慶	産業・労働心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）、

（2019年4月現在）

授業科目、担当者および修了要件

■ 言語科学専攻（後期3年だけの博士課程）

授 業 科 目	単 位	担 当 者（予定）
言語科学研究演習Ⅱ（文法論）	4	教授 西垣内 泰 介
言語科学研究演習Ⅲ（形式意味論・計算言語学）	4	教授 郡 司 隆 男
言語科学研究演習Ⅳ（社会言語学）	4	教授 松 田 謙次郎
言語科学研究演習Ⅴ（語用論）	4	教授 柏 本 吉 章
言語科学研究演習Ⅵ（外国語教育）	4	教授 作 井 恵 子

（2019年4月現在）

（修了要件）

本課程を修了するには、3年間在学し、研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、特に優秀な研究業績をあげたと認められる者については、2年以上在学すれば足りうるものとする。

学生は、これらの授業から8単位以上を修得しなければならない。